シラバス参照

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナールⅠ		
担当教員	田中　光輝		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火４		
講義室	1405	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード　学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係 　ＤＰ４－Ｆ　〔探究力・課題解決力〕　問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 　ＤＰ３－Ｇ　〔状況把握力・判断力〕　自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 　ＤＰ４－Ｉ　〔理解力・分析力〕　文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 　ＤＰ５－Ｊ　〔創造的挑戦力・達成力〕　コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクを取りながら、結果的に結びつけることができる。 　ＤＰ８－Ｍ　〔省察力〕　知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ＣＲコード　学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 　Ｆ１　探求と論拠（２０％） 　Ｇ１　状況把握（４０％） 　Ｉ１　理解・分析と読解（２０％） 　Ｊ１　継続的学修基盤（１０％） 　Ｍ１　総合的・応用的学修（１０％）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 　３　発展期　～　４　定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学ぶ。ゼミナールⅠでは、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えることを目的とします。授業は演習により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード　研究、省察		
授業の趣旨	■副題 　研究を進める上で興味関心の高い分野を理解し、講読・調査・報告・議論方法などを学び、研究を進める上での基礎知識、研究方法を明らかにしましょう。 ■授業の目的 　自身のスポーツ競技及び興味関心の高い分野について、研究を進める上で必要な知識と研究方法を学習する。関心ある文献内容について、できるだけ多く目を通し、研究実践しようとする領域と知識を得ると同時に、諸般の問題を知り、自己の問題意識への解決と、研究への要素を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 　学生自身が研究を進める上で興味関心の高い分野を見つけ、その課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、プレゼンテーションを行う準備に必要な知識を深め、調査・報告・発表・議論の方法について考察することになります。		
総合到達目標	■自身の専門とする競技の研究方法について、様々な技術及び分析方法や、問題点などの討議を通し、プレゼンテーションに必要な知識を修得する。 ・自身の専門とする競技の基本知識を説明できる。（第１回、第１５回） ・自身の競技に関する研究方法や分析について説明できる。（第２回～第４回） ・自身の研究についての実験・観察・調査について説明できる。（第６回、第７回、第９回、第１０回、第１２回、第１３回） ・自身の研究のテーマについて討議できる。（第５回、第８回、第１１回、第１４回）		
成績評価方法	■調査レポート（４回）（６０％）：適用ルーブリック　Ｆ１・Ｇ１ （評価の観点）①研究対象調査レポート、②文献研究調査レポート、③ブックレポート、④報告型レポートの資料と発表内容で評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。 ■授業リアクションペーパー（４回）（４０％）：適用ルーブリック　Ｉ１・Ｊ１・Ｍ１		

	（評価の観点）授業内で実施する授業リアクションペーパーで、授業の内容を明確に捉え自分の考えを示せるかで評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。
履修条件	特にありません。
履修上の注意点	特にありません。

授業内容

回	内容
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価方法について確認する。ゼミナールⅠの展開を概観する。自身の進める研究への関心を育てる（Ｆ１・Ｇ１・Ｊ１）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認し、自分の考えを確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容について、自身の専門とする競技や興味のある研究についての方向性や知識をまとめて、自身の考えを説明できるようにしておく。
2	①授業テーマ 研究対象について　① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技において、いま一度自分自身の競技を理解し、専門競技におけるコーチングやトレーニングの知識の意味を考え、講読・調査・報告議論などの基本知識を含め、自身の研究への関心を育てる（Ｆ１・Ｇ１・Ｉ１）。 担当教員の実務経験を踏まえて、学生が研究を進めるための準備等について講義します。 ③予習（120分） 自身の専門競技における特徴や、パフォーマンスに関する要素について、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 自身の競技について理解し、コーチングやトレーニングの知識や専門諸学について、自身の考えを説明できるようにしておく。
3	①授業テーマ 研究対象について　② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技において、競技力向上に生ずる問題点を改善するための理論を考え、講読・調査・報告議論などの基本知識を含め、自身の研究への関心を育てる（Ｆ１・Ｇ１・Ｉ１）。 ③予習（120分） 研究対象である自身の専門競技についての特徴や、パフォーマンスに関する要素について、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 自身の競技力向上に生ずる問題点を改善するための理論と、自身の考えを説明できるようにしておく。
4	①授業テーマ 研究対象の共通点について ②授業概要 研究対象である、自身の専門競技について自身と同様、もしくは他競技の学生とで、経験してきたスポーツ構造について、研究対象の共通点について考え、研究への考察範囲を広げる（Ｆ１・Ｇ１・Ｉ１）。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技に関して、関心ある研究対象調の共通点について、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 自身の競技と他の競技の共通点について整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
5	①授業テーマ 研究対象について討議（①研究対象調査レポートについて） ②授業概要 各自で調べた研究対象調査レポートを発表し、自身及び他者の専門競技について討議をする。自身と同様もしくは他競技の学生とで、経験してきたスポーツ構造を基に、これから進める研究内容について考え、内容をリアクションペーパーでまとめる（Ｇ１・Ｉ１・Ｍ１）。研究対象調査レポートを提出する。模範解答の説明を含め、研究対象調査の方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技に関して、関心ある研究対象調査レポートについて、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 討論した内容について、研究を進めるたに必要な知識を整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
6	①授業テーマ 文献研究から学ぶ　① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、関心ある文献内容から研究の学術意義を理解し、自身の研究について実験・観察・調査を考え、研究への関心を育てる（Ｆ１・Ｇ１・Ｊ１）。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技に関して、関心ある文献研究について、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 自身の研究について、関心ある文献内容のまとめと整理しておく。
7	①授業テーマ 文献研究から学ぶ　② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、関心ある文献内容から研究の学術意義を理解し、自身の研究について実験・観察・調査を考え、研究への関心を育てる（Ｆ１・Ｇ１・Ｊ１）。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技に関して、関心ある文献研究調査レポートについて、自分の考えを整理しておく。

	④復習（120分） 関心ある文献から実験・観察・調査に関しての知識をまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
8	①授業テーマ 研究対象について討議（②文献研究調査レポートについて） ②授業概要 各自で調べた文献研究調査レポートを発表し、自身及び他者の専門競技について討議をする。自身と同様もしくは他競技の学生とで、経験してきたスポーツ構造を基に、これから進める研究内容について考え、内容をリアクションペーパーでまとめる（Ｇ１・Ｉ１・Ｍ１）。文献研究調査レポートを提出する。模範解答の説明を含め、文献研究調査の方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技について、文献研究調査レポートにつて、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 討論した内容について、研究を進めるたに必要な知識を整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
9	①授業テーマ 研究の方法について　① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究の方法の実験的文献調査と研究の手順について調べ、プレゼンテーションに必要な技術や知識を含め、自身の研究について考える（Ｆ１・Ｇ１・Ｉ１）。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技について、研究を進める上で必要な研究方法につて、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 文献調査と研究の手順について、自分の考えを整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
10	①授業テーマ 研究の方法について　② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究の方法の実験的文献調査と研究の手順について調べ、プレゼンテーションに必要な技術や知識を含め、自身の研究について考える（Ｆ１・Ｇ１・Ｉ１）。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技についての研究の方法について、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 自身の研究を進める上で必要な競技分析について、、自身の考えを説明できるようにしておく。
11	①授業テーマ 研究の方法について討論（③ブックレポートについて） ②授業概要 自身で調べたブックレポートを発表し、自身及び他者の専門競技について討議をする。自身と同様もしくは他競技の学生とで、経験してきたスポーツ構造を基に、これから進める研究内容について考え、内容をリアクションペーパーでまとめる（Ｇ１・Ｉ１・Ｍ１）。ブックレポートを提出する。模範解答の説明を含め、ブックレポートについて復習を行ないます。 ③予習（120分） 量的研究方法とはどのような研究を指すのか、ブックレポートについて自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 討論を通してでた様々な視点内容を整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
12	①授業テーマ 具体的な研究について　① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技について、具体的な研究の量的研究方法について学習し、研究を実践しようとする領域と知識について考える（Ｆ１・Ｇ１）。 ③予習（120分） 質的研究方法とはそのような研究を指すのか、具体的な研究について自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 量的研究の実験について具体例を挙げられるように、、自身の考えを説明できるようにしておく。
13	①授業テーマ 具体的な研究について　② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技について、具体的な研究の質的研究方法について学習し、研究を実践しようとする領域と知識について考える（Ｆ１・Ｇ１）。 ③予習（120分） 現在行っている、または経験してきた競技について、具体的な研究についてまとめ、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 質的研究の実験について具体例を挙げられるように、自身の考えを説明できるようにしておく。
14	①授業テーマ 具体的な研究について討論（④報告型レポートについて） ②授業概要 自身で調べた報告型レポートを発表し、自身及び他者の専門競技について討議をする。自身と同様もしくは他競技の学生とで、経験してきたスポーツ構造を基に、これから進める研究内容について考え、内容をリアクションペーパーでまとめる（Ｇ１・Ｉ１・Ｍ１）。報告型レポートを提出する。模範解答の説明を含め、報告型レポートの方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） 自身の専門競技への研究と報告型レポートについて、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 討論した内容をまとめ具体例を挙げられるように、、自身の考えを説明できるようにしておく。
15	①授業テーマ ゼミナールＩのまとめ ②授業概要 これまでの授業で学習したことを総括し、研究を進める上で必要な知識や研究方法などについて考察する。これまでの内容をリアクションペーパーでまとめる（Ｇ１・Ｉ１・Ｍ１）。模範解答の説明を含め、研究の方法について復習を

	行ないます。 ③予習（120分） 　これまでの内容を整理して、ゼミナールⅡへ繋げるため、自分の考えを整理しておく。 ④復習（120分） 　自身の競技で興味関心のある研究について、まとめの内容を振り返り整理して、自身の考えを説明できるようにしておく。
関連科目	「コーチング学原論　SSCS1304」（１年次前期配当）、「コーチング学研究法演習　SSCS2317」（２年次後期配当）は、競技理論や研究方法を扱うものとして、本講と関係します。
教科書	指定しません。
参考書・参考ＵＲＬ	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜日２時限（研究室）。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.